

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和3年度)

施設名	吹田市花とみどりの情報センター	所管部室課名	土木部公園みどり室
所在地	吹田市津雲台1-2-1 (千里ニュータウンプラザ内)	設置年月日	平成24年(2012年)9月3日

1 施設の概要

(1)設置目的	花とみどりに関する情報の普及を図るとともに花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、もって緑化意識の高揚に資することを目的とする。		
(2)規模、開館日等	【規模】 展示室 1室 講習室 1室	【開館日等】 開館時間:10:00~18:00 休館日:月曜日、祝日(祝日が月曜日と重なったときは、その翌日も休館)、12月29日~1月3日※みどりの日は開館	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	株式会社日比谷アメニス				
(2)指定期間	令和3年4月1日~令和8年3月31日(5年間)				
(3)選定方法	公募				
(4)指定管理者が行う業務内容	ア 事業の実施に関する業務 イ 使用の許可に関する業務 ウ 使用料の徴収に関する業務 エ 施設及び付属設備等に関する維持管理業務 オ アからエのほか、市長が必要と認める業務				
(5)指定管理者の収支			令和2年度(※1)		令和3年度
			計画	実施結果	計画
	収入	委託料 (円)	33,336,111	33,336,111	25,564,000
	支出	管理経費 (円)	33,336,111	33,338,916	25,564,000
	収支差額 (円)		0	-2,805	0
					-4,656

(※1 令和2年度は、江坂・千里の2施設の合計)

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標			令和2年度(※2)		令和3年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
1	利用者数	人	55,662	23,119	-	7,905
2	緑化相談件数	件	840	577	-	507
3	主催講座参加者数	人	960	202	-	706
4	施設稼働率	%	-	17.7	-	67.2

(※2 令和2年度は、江坂・千里の2施設の合計)

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	ア 日報への相談・問合せ・苦情・要望・称賛の記録(通年実施) イ 講習会参加者アンケートの実施(毎回実施)
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあつた。 ア 新型コロナウイルス感染症の影響が講座の定員が減って、キャンセル待ちが増えた。 イ 街の木ガイドに参加したいが、車椅子で参加しづらい内容のため残念 ウ 講習会参加が先着順のため、予約開始の日時に予定が合わないと言約が埋まってしまう。
(3)結果を受けての対応状況	ア 情勢を把握しながら、徐々に新型コロナウイルス感染症による施設の使用制限前の定員数に戻している。 イ 令和4年度よりバリアフリーに配慮したガイドを開催 ウ 一定の予約受付期間を設け、定員を超えた場合は抽選とするように受付方法を変更

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・窓口での平等を確保するための対応マニュアルを整備しており、スタッフ全員が接客研修を受講している。 ・使用許可についてマニュアルや内規を作成し、市民の平等な利用を確保している。 ・子どもから高齢者まで幅広い利用者特性に応じた講習会や催しを実施している。 ・個人情報保護についてマニュアル整備や研修を行い、データはパスワードで保護、紙媒体は鍵付きの書庫に保管することで個人情報保護を徹底している。
(2)施設の効用の発揮	・アンケートを通じて利用者満足度を調査し、その反映に努めている。 ・必要なマニュアルを整備し、毎日、施設内巡回を行っており、安全対策を講じている。 ・施設の維持管理及び事務処理は適切に行われている。 ・展示スペースには、施設の設置目的に合致した内容の掲示物を適切に掲示・更新している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・適切な管理運営を行うために必要な人員及び資格者を配置するとともに、職員に対する研修(事務処理、個人情報保護、緊急対応、安全管理、防犯対策等)も適切に実施しており、サービスの向上に努めている。 ・女性の起用を積極的に行うなど、男女共同参画の取組を行っている。 ・経営に関しては、経理帳簿を備え、適切に経理事務を行っており、会社も安定的な管理運営が可能な財政的基盤を有している。
(4)施設の管理経費の縮減	・それぞれの人員が複数の業務を効率よく実行するマルチタスク化、オンラインによる会議など、創意工夫による管理経費の縮減に努めている。 ・不要な照明の消灯、温湿度計による空調温度の適正管理を行っており、環境に配慮している。 ・日報をシステム管理とすることで、報告書等の作成における業務の簡素化やペーパーレス化に努めている。
(5)効果的な事業運営	・新しい公園のつかい方の実践や情報発信を行い、効果や課題検証に取り組んでいる。 ・樹木に関するガイドや講座を行うことで、公園樹木や街路樹の良好な維持管理のための市民協働の推進に努めている。 ・積極的に地域に出向き、地域での花とみどりのまちづくり活動を支援している。 ・園芸相談や講習会等を通じて市民の花とみどりに関する活動を支援している。 ・施設の設置目的に合致した書籍や植物等の物販、コピーサービス等の自主事業を実施している。
(6)総合評価	当該指定管理者は、「新型コロナウイルス感染症との共生」に向けた社会の流れがある中で、常に情勢を把握し、適切な施設管理運営を行っていた。また、利用者アンケートの満足度や評価が非常に高いことから、市民ニーズに合致した講習会や園芸相談を実施できているといえる。その一方で、利用者層の偏りや認知度にあまり変化がないことが課題として挙げられる。それを踏まえた上で令和3年度より、新型コロナウイルス感染症に配慮したイベントの開催やセンター自ら地域に出向く機会を増やしており、この取組みによる効果が次年度以降に現れることを期待したい。